

令和元年度「科学の甲子園」鳥取県大会 開催要項

1 目的

高等学校及び高等専門学校（以下、「高等学校等」という。）の生徒を対象として、科学技術・理科・数学における複数分野の競技会を開催することにより、県内の科学好きな生徒が集い、切磋琢磨する場を提供することで、知的好奇心を喚起し、科学好きの裾野を広げるとともに、理数分野の学力の伸長を図ることを目的とする。

2 期日及び会場

(1) 期日 令和元年11月9日（土）

(2) 会場 鳥取東高等学校
(コモンホール、物理、化学、生物実験室及び講義室)

3 参加資格及び参加人数

県内の高等学校等の第1学年又は第2学年に在籍する生徒（高等専門学校にあっては同年次の学生）6名以上8名以内で1チームを編成し、各学校からの参加チーム数は3チーム以内とする。

ただし、大会への参加チーム総数は12チームまでとし、12チームを超える応募があった場合は、1校からの参加チーム数を制限する場合がある。

4 日程及び競技方法等

(1) 日程

受付	午前10時00分から午前10時30分まで
開会式	午前10時30分から午前10時45分まで
午前の部 実験競技	午前11時00分から午後0時15分まで
昼食	午後0時15分から午後1時00分まで
午後の部 筆記競技	午後1時15分から午後2時15分まで
審査及び結果発表 (表彰式)	午後2時15分から午後4時15分まで

(2) 競技方法

ア 午前の部

- 各チームの生徒は、物理実験、化学実験及び生物実験の3つの競技に分かれ、複数人で協力して競技に取り組む。

イ 午後の部

- ・各チームの生徒は、全員で協力して筆記競技に取り組む。
- ・筆記競技は、物理・化学・生物・地学・数学・情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題される場合がある。

ウ 筆記競技出題範囲の概要

中学校までの学習内容に、以下の範囲を加えて出題する。

数学・・・数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B全範囲
物理・・・物理基礎、物理全範囲
化学・・・化学基礎、化学全範囲
生物・・・生物基礎、生物全範囲
地学・・・地学基礎、地学全範囲
情報・・・社会と情報、情報の科学全範囲

※なお、上記範囲を逸脱する問題では、誘導形式の出題を行うよう留意するものとする。

(3) 表彰等

- ア 午前の部と午後の部の総合得点が高かった3チーム、筆記競技の得点が高かった3チーム及び各実験競技別得点が高かったチームを、それぞれ表彰する。
- イ 午前の部と午後の部の総合得点が高かったチームには、「第9回科学の甲子園全国大会」への出場権を与える。
- ※「第9回科学の甲子園全国大会」は、令和2年3月20日（金）から3月23日（月）までの日程で、ソニックシティ及びサイデン化学アリーナ（さいたま市）を会場に実施される。

5 その他

当日は下記のとおり送迎バスを運行するので、乗車希望者は、別紙様式に乗車場所を記入すること。

往路：米子駅 8:00 → 倉吉駅 9:00 → 鳥取東高校 10:10

復路：鳥取東高校 16:30 → 倉吉駅 17:40 → 米子駅 18:40

※復路は最寄りのバス停で降車することも可能。

6 申込み

別紙様式に必要事項を記入し、令和元年9月30日（月）までに照会文書データベースの返答文書で提出すること。ただし、私立高校及び米子工業高等専門学校については、下記担当あてに電子メールで提出すること。

7 担当・問い合わせ先

鳥取県教育委員会事務局高等学校課指導担当

担 当 木村 彰志

電 話 0857-26-7917

電子メール kimura-s@pref.tottori.lg.jp